

就業体験情報一冊に



大学生がまとめた就業体験の内容などを紹介する情報誌「CONNECT」

札幌圏の大学生編集 18の企業、団体紹介

札幌圏の大学に通う学生たちが、インターンシップ(就業体験)を実施している企業や団体を紹介する情報誌「CONNECT」(コネクト)を編集した。新型コロナウイルスの影響によるオンライン授業の広がりや、大学になかなか行けないため、就業体験の情報を集めにくいと声を受け、取材してまとめた。学生たちは「会社選びに役立ててほしい」と話している。

(菊池圭祐)

北海学園大キャリア支援センターによると、就業体験に特化した情報誌を学生が作るのは珍しいという。

「社会経験を積む場を知る機会が減っている実感がある」。編集に関わった同大3年の栗田一穂さん(21)は危機感を訴える。学生は就業体験の情報収集でインターネ

期間、開催場所など「会社選びに役立てて」

ットなどを活用しているものの、実際に学内の就職担当の部署などを訪れる機会が減っている。

こうした声を受け、編集に取り組んだのは北海学園と北星学園、札幌、札幌学院、星槎道都の5大学の17人。8月上旬から札幌市の社会保険労務士法人「ホームラン」の就業体験に参加し、同法人の関連会社が発行する形で実現した。

情報誌では、札幌や帯広に本社や拠点を置く飲食業や税理士事務所など18の企業・団体の就業体験を取り上げた。就業体験の期間を表で示し、申し込み方法や開催場所などをまとめた。

さらに、仕事のやりがいや社風をオンライン会議システム「Zoom(ズーム)」などを使って従業員らに聞き、写真や文章を組み合わせて紹介した。情報誌の名前には「学生と企業の心がつながる」との願いを込めた。北海学園大3年の小山公暉さん(20)は「実際に取材して文字にする作業は思ったより大変だった。学生の参考になってくれるとうれしい」と話した。A4判で42ページ、500部発行。今月中にも製作に関わった学生が所属する大学の就職担当部署などで配布する。